

あとがき

現在1月です。2024年辰年がスタートしましたが、新年早々、能登半島地震による大きな爪痕が暗い影を落としています。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

辰年は十二支のなかでは唯一空想の生き物であり、天に昇る龍・辰のごとく力強さと幸運・成功をつかみ発展する、最も縁起の良い干支とされております。今後運気が上昇して良い1年になることを祈るばかりです。

新年がスタートすると、還暦をこえた私にとっては辛いものがあります。また1歳年を重ね、老けることになります。同世代の友人たちとは、“一日一生日々元旦”を誓い、昨年から旅行回数が増えています。今月下旬は、東京都出身で定年後、旭川に移住した友人を学生時代からのスキー仲間と訪ね、厳寒を体験してきました。最高気温-2℃、最低気温-7℃の地ですから、パウダースノーの上にシュプールを描くのが第一の目的でした。旭川の友人はSAJ公認スキー指導員の資格を取得したので格段に上達しており、普段運動をしていない我々には厳しいものであります。アフタースキーは地元料理、ラーメン、鉄板焼きに舌鼓を打ち、充実した旅行になりました。

さて本誌4月号です。先日、症例カンファランスで健康人に突然発症する治療抵抗性のてんかん重積を拝聴したところでしたので、疾患と検査値の推移「てんかん」はその全般が学べ、勉強になりました。技術講座は日常臨床検査の実践において有用な構成となっています。トピックス、フォーカス、臨床検査のピットフォール、読者質問箱などの内容も有益な知識・情報です。皆さまには是非お役立ていただきたいと思います。

(横田 浩充)

第52巻5号(2024年5月号)予告

技術講座

- ・染色の代表的な染色の原理—細胞診検査のための
パパニコロウ染色(Papanicolaou 染色, Pap. 染色) 畠山 重春
- ・不整脈自動検出機能付きイベントレコーダ 間瀬 典弥
- ・心エコー図検査による潜在性左室流出路狭窄の誘発 関根 綾子
- ・シリーズ 病態生理から読み解く腹部エコー検査・2
肝臓のびまん性疾患を読み解く腹部エコー検査のポイント 関根 智紀, 他
- ・臨床検査医学におけるデータサイエンス 石田 秀和
- トピックス
- ・末梢動脈疾患ガイドラインを読み解く 菊地 信介
- ・脂質代謝の新しいマーカー
—動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022年版を踏まえて 木村 孝徳

フォーカス

- ・薬剤感受性検査の新たなアプローチ 小松 方
- ・自然毒性食中毒の現状と検査法 岡田 光貴

病気のはなし

- ・白内障 渡邊 敬三

臨床検査のピットフォール

- ・薬剤感受性検査結果解釈におけるピットフォール 伊藤 志昂

読者質問箱

- ・病棟で脳波を取る際にノイズを除去する
工夫について教えてください 佐々木 伸章
- 臨床医からの質問に答える
- ・血液ガス分析と血清検査の電解質の結果に
差があるのはなぜでしょうか? 吉川 直之

編集室より

この稿を書いている1月末、これから試験に臨む方、配属が変わる方も多いと思います。そんな不確実な時期を淡々と過ごす、できることを粛々とすることも、ある意味「レジリエンス」なのかもしれません。本誌がお手元に届くころには、決まった進路に胸を膨らませていることでしょう。その様子が目に浮かびます。(S)

編集委員(五十音順)

矢富 裕(編集主幹)・大楠清文・平石直己・八畝恒芳・横田浩充

編集協力委員(五十音順)

大川龍之介・大沼健一郎・岡田光貴・沖野久美子・菊地良介・木下朋幸・木村圭吾・草刈宏有・河野浩善・国分寺晃・佐々木雅一・清水康平・松田和之・丸川活司・柳田絵美衣・脇田 満

検査と技術

2024年4月1日発行(毎月1日発行)
定価:1,870円(本体1,700円+税10%)

2024 年年間購読料(2冊の増大号を含む12冊、税込、配送料弊社負担)

冊子版	27,984円	電子版/個人	27,984円
冊子+電子版/個人	33,484円		

発行 株式会社 医学書院	本誌編集室	TEL (03) 3817-5713	別刷取扱 販売・PR 部	(03) 3817-5650
代表者 金原 俊		FAX (03) 3815-7802	印刷 (株)アイワード	(011) 241-9341
〒113-8719	E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp		広告取扱 (株)文京メディカル	(03) 3817-8036
東京都文京区本郷 1-28-23	URL www.igaku-shoin.co.jp/journal/543			

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2024. Printed in Japan.

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

「検査と技術」は、株式会社医学書院の登録商標です。

(担当 佐野・三由・田村・溝口・能藤)